

季節風

2015.9.3

No.15

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

未来へつなぐ税 三年 伊藤 舞桜

近年、日本の少子高齢化は急速に進み、年金などに税金が多く使われるようになったと聞く。

昨年、消費税が5%から8%に引き上げられ、私たち若い世代の負担がどんどん大きくなっているそうだ。私は、消費税が引き上げられた時、計算が面倒になると思ってしまったと同時に、レジで支払う金額が増えることで、ただ単純にこちらが損しているかのようにさえ感じた。

しかし、私が働くようになってから、きちんと税を納めていると強く思っている。

なぜなら、私自身、税金に長い間支えてもらったからだ。

私は五歳の時、難病指定のI-T-Pという病気を発症した。すぐに入院しなければならなくなり、保育園も小学校も休みがちになった。毎月二回ほど一週間程度の入院を繰り返し

とても高価な薬を点滴で体に入れてもらっていた。

私は小さい時、お金のことが心配になり、母に、

「私の治療費は大丈夫？」と聞いてみた。すると母は、

「難病指定の病気だから、I-T-Pの治療費は、みんなが納める税金から出してもらっているんだよ。」と教えてくれた。

私はこれを聞いて、働いてしっかり税金を納めて下さっている国民の方々への感謝の気持ちでいっぱいになった。

税金は私たちの未来につながっている。

私の将来の夢は、医師になることだ。そのためには、もっと学習を一生懸命にする必要がある。真面目に



隠れたカリキュラム

子どもたちの人権感覚を育てるには、いわゆる「隠れたカリキュラム」が大切であると言われてい

ます。**「隠れたカリキュラム」とは、教育する側が意図する、しないに関わらず、生活の中で、生徒自らが学びとっていきすべてのことがら**を指しています。

つまり**「隠れたカリキュラム」とは、自分が生活する学校や学級の場の空気であったり、雰囲気**と言い換えることができます。

例えば、「いじめ」を許さない態度を身につけるには、「いじめはよくない」という知的理解だけでは不十分です。実際に、「いじめ」を許さない雰囲気が浸透する学校・学級で生活することを通して、生徒ははじめて「いじめ」を許さない人権感覚を身につけることができます。つまり、**学級や学校、さらには、家庭も含めて、どのような場の雰囲気を**つくるかが重要となるのです。



正面玄関改装

八月三十一日、学校の玄関から入って正面の壁紙や掲示物を新しくしました。掲示しているのは、鹿北町立

中学校時代の校旗と板に刻まれた校訓「己を重んじ

己を伸ばす 友を敬し 友に学ぶ」

です。また、中村先生が季節の花を飾ってくれていま

す。さらにかわいい苔玉もあります。ぜひ来校された際には足を止めて見ていただければと思います。

